

# 平成29・30年度入学生対象

別記様式3

平成31年4月1日現在

## 特定プログラム説明書

開設学部等名[産学・地域連携センター]

プログラムの名称	(和文) ひろしま平和共生リーダー育成特定プログラム (英文) Hiroshima Peace Initiative Leader Program
1. 概要	<p>広島大学では、「平和」の意味を「全ての人々が共生できる社会」と捉え、そのような社会の実現に向けて身近な地域で課題解決に主体的に取り組むことのできる人材：「ひろしま平和共生リーダー」の育成を目指している。</p> <p>本プログラムは、「ひろしま平和共生リーダー」を志向する学生を対象に、①被爆者の高齢化、被爆体験の風化が危惧される中で喫緊の課題となっている被爆体験の伝承と発信（平和共生領域）、②急速な過疎化・高齢化の進展により維持が困難になりつつある中山間地域、島しょ部等における地域社会の再生（地域共生領域）、③身体的・精神的あるいは社会的ハンディキャップを抱える人々が共生することができる社会の実現（ソーシャルインクルージョン領域）をテーマとして、基本的な地域課題を理解するとともに、課題解決に向けた基礎的な考え方・方法論を学ぶ実践的なプログラムを提供するものである。</p>
2. 到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・広い意味での「平和」（全ての人々が共生できる社会）に関する考え方、マインドを理解する。</li><li>・地域社会における様々な分野において、地域の抱える様々な課題を的確に理解・把握するとともに、地域課題を解決するための能力・スキルを習得する。</li></ul>
3. 登録時期	<p>1年次第2タームをプログラムへの登録開始時期とする。ただし、平成29年度入学生は、2年次第2タームを登録開始時期とする。なお、プログラムを登録する前に修得した授業科目の単位を修了要件単位に算入することができる。</p>
4. 登録要件	<p>特に定めないが、平和科目「ひろしま平和共生リーダー概論」の受講を推奨する。</p>
5. 受入上限数	<p>1学年20名程度とする。希望者が多数の場合、志望理由を基に、担当教員会で審査し、登録者を決定する。</p>
6. 授業科目及び授業内容	<p>※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。</p> <p>※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p> <p>※個々の授業科目については、開設部局の状況によって受入者数を制限することがある。</p>
7. 修了要件	<p>別紙「履修表」のとおり、11単位以上を取得すること。</p>
8. 責任体制	<p>副理事（地域連携担当）を本プログラムの責任者とした、ひろしま平和共生リーダー育成特定プログラム担当教員会を設置し、プログラムの運営を担当する。</p> <p>責 任 者： 榎原 晃二 副理事（地域連携担当）</p> <p>担当教員会メンバー： 川野 徳幸 教授（基礎科目・平和共生領域） 友次 晋介 准教授（基礎科目・平和共生領域） 山尾 政博 教授（地域共生領域） 細野 賢治 准教授（地域共生領域） 谷本 忠明 准教授（ソーシャルインクルージョン領域） 山本 幹雄 准教授（ソーシャルインクルージョン領域）</p>
9. 既修得単位等の認定単位数等	<p>(1) 他大学等における既修得単位数等 既修得単位等の認定は行わない。</p> <p>(2) 広島大学における既修得単位数（科目等履修生として履修した単位を含む。）の認定単位等 既修得単位等の認定は行わない。</p>

## 【別紙】

## ひろしま平和共生リーダー育成特定プログラム履修表

科目区分	要修得 単位数	授業科目	単位数	履修年次 (開講期)	開設部局
基礎科目 (平和科目) (※1)	2	ひろしま平和共生リーダー概論 (※2)	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		平和を考える	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		平和と人権ーグローバル化とジェンダー視点	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		国際政治と地球環境から見る平和	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		ヒロシマ学 (平成 30 年度不開講)	2	1年次	教養教育科目
		戦争と平和に関する学際的考察	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		環境と平和	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		飢餓・貧困・環境問題からみた平和学	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		暴力の比較宗教学	2	1年次 (2T)	教養教育科目
		国際関係論	2	1年次 (2T)	教養教育科目
発展科目 (※3)	平和共生領域	宗教政治社会論	2	2年次 (1T)	総合科学部
		都市社会史 (※4)	2	2年次 (開講期未定)	総合科学部
		平和学	2	2年次 (3T)	総合科学部
		アジア政治の基礎	2	2年次 (3T)	法学部
		安全保障論 (※5)	2	3年次	法学部
		国際政治学 (※5)	2	2年次 (2T)	法学部
	地域共生領域	中山間地域・島しょ部連携特別講座	1	1年次 (3T)	生物生産学部
		食料資源論	2	1年次 (4T)	生物生産学部
		地域農政特論	1	1年次 (2セム・集中)	生物生産学部
		食料生産管理学	2	2年次 (3T)	生物生産学部
		食料社会経済学演習	2	3年次 (5セム)	生物生産学部
		地域農業組織論	2	3年次 (6セム)	生物生産学部
	ソーシャルインクルージョン領域	社会福祉と貧困 (※6)	2	1年次 (1T)	教養教育科目
		ジェンダーと社会 (※6)	2	1年次 (1T)	教養教育科目
		現代社会と福祉	2	1年次 (3T)	教養教育科目
		障害者支援アクセシビリティ概論	2	1年次 (2セム・集中)	アクセシビリティセンター
		現代法政策論	2	2年次 (4T)	総合科学部
		動態社会学演習 (※4)	2	3年次 (開講期未定)	総合科学部
		フィールド演習科目	1以上	障害学生支援ボランティア実習 A (※6)	1
中山間地域・島しょ部連携インターンシップ (※6)	1	1年次 (1セム・集中)		生物生産学部	
有用水産生物を学ぶ総合演習	2	1年次 (4T・集中)		生物生産学部	
中山間地域・島しょ部フィールドワーク特別演習	2	3年次 (5セム・集中)		生物生産学部	
実践フロントランナープログラム	1	1年次 (2T, 3T)		教養教育科目	
地域社会探検プロジェクトーインターンシップ・ボランティアを体験してみようー	2	1年次 (集中)		教養教育科目	
広島平和記念資料館ボランティア実習 (※7)	1	3年次 (2T・集中)		産学・地域連携センター	
要修得単位数	11以上				

※1 平成 29 年度入学生が、プログラム登録時点において、本履修表に記載されていない平和科目を履修しており、単位を修得している場合は、特例として基礎科目の単位を修得したものとみなす。

※2 「ひろしま平和共生リーダー概論」の履修を推奨する。

※3 「平和共生領域」、「地域共生領域」及び「ソーシャルインクルージョン領域」のそれぞれの領域より、最低 1 科目以上を選択し、発展科目内で 8 単位以上を選択すること。

- ※4 開講期未定の科目については、シラバス、開設部局の授業時間割等で確認すること。
- ※5 隔年開講の科目を示す。開講年度に注意すること。
- ※6 プログラム登録時期（1年次2T）より以前に開講される科目を示す。
- ※7 平成31年度開講予定の科目を示す。